



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

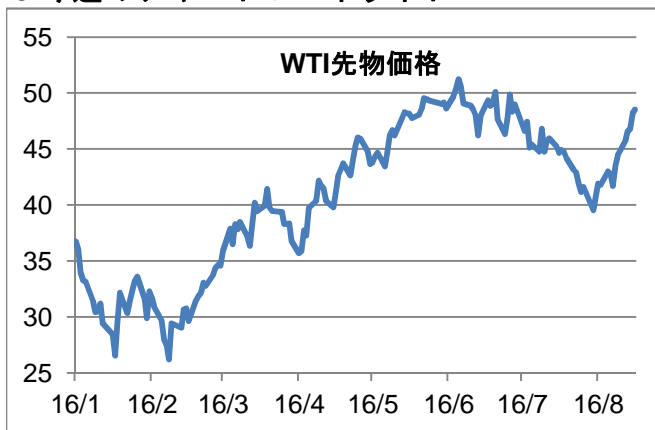
			8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1860	3.2020	3.2060	3.2390	3.2050	-0.0340
	BRL/JPY	Spot	31.78	31.32	31.25	30.84	31.26	+0.42
	EUR/USD	Spot	1.1183	1.1277	1.1289	1.1351	1.1326	-0.0025
	USD/JPY	Spot	101.26	100.29	100.19	99.89	100.21	+0.32
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.82	13.85	13.83	13.85	13.82	-0.0235
	Future	1Year(p.a.)	13.10	13.15	13.14	13.18	13.14	-0.0460
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.214	2.187	2.156	2.100	2.083	-0.017
	USD	1Year(p.a.)	2.350	2.384	2.327	2.263	2.250	-0.013
株式	Bovespa指数		59,145.98	58,855.43	59,323.83	59,166.02	59,098.92	-67.10
CDS	CDS Brazil 5y		253.97	253.46	253.30	251.76	253.00	+1.24
商品	CRB指数		185.144	186.637	186.898	189.339	188.780	-0.559

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは財政改革が遅れることへの懸念を背景に軟調推移。
- 週初のレアルは3.1910で寄り付いた。最高裁がルセフ大統領に対する検察捜査開始を承認したことを受けて弾劾成立観測が強まると、レアルは週間高値3.1560を示現した。しかし、予算関連法案の採決延期を受けて週間安値となる3.2490まで下落。週末にかけては7月税収が予想を上回ったことを受けて買い戻され、3.2050で越週。
- 伯中銀公表のアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が▲3.23%から▲3.20%に3週連続で上方修正された。また、2016年末のインフレ率予想が7.20%から7.31%へ、政策金利予想13.50%から13.75%へ上方修正された。2017年予想はいずれも不変だった。
- 16日、最高裁は職務停止中のルセフ大統領について、汚職事件捜査を妨害した嫌疑で検察が求めていた捜査の開始を承認。一連の汚職捜査の中でルセフ氏に対する捜査の着手は初めて。
- 17日、FRBが7月のFOMC議事録を公表。追加利上げに関して当局者の意見が割れていたことが示され、利上げ期待が後退した。ドルは対主要通貨で売られた。
- 17日夜、伯上院は出席議員が定数に達しなかったことから連邦の財源確保を目的とした法案の採決を延期した。この法案は政府経費裁量枠を25%に引き上げるもので財政赤字削減に向けた重要な法案の一つとなっている。採決延期は投資家の失望を買い、レアルは売られ、ボベスパ指数も反落した。
- 18日、伯財務省は2016年のGDP成長率予想を▲3.1%から▲3.0%に、2017年のGDP成長率を+1.2%から+1.6%に上方修正した。インフレ率予想は2016年が7.2%、2017年が4.8%と従来据え置きだった。
- 今週の伯中銀は月曜日から木曜日まで7.5億ドルのドル買い介入を行い、金曜日には介入額を5億ドルに減額した。いずれも全額落札となり、週間の介入金額は35億ドルとなった。伯中銀は来週の月曜日に5億ドルの入札を行うと発表している。

3. 今週のチャート&ハイライト



OPEC増産凍結期待で原油価格が堅調推移

来月のOPEC非公式会合で原油価格調整についての議論が行われるとの期待感に加え、米国の在庫減少を受けて原油価格が上昇。WTI先物は週間で約9%上昇した。これを受けてボベスパ指数は高値圏で揉み合う展開となっている。しかし、仮にOPECが増産凍結で合意したとしても合意の実効性を疑問視する見方もあり、価格調整は期待感のみに終わる可能性もある。OPEC会合が期待外れに終われば、原油価格は反発し、レアルも売られるだろう。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客業のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10－3.30

来週のレアルはレンジ内で揉み合う展開を予想。伯中銀がドル買い介入金額を減額したことを受けて、介入警戒感を背景としたレアル売りは後退するだろう。一方、ルセフ大統領の弾劾採決とその後の特メル政権への期待感もほぼ織り込まれている中、財政改革の動きが鈍くなって来ていることから、将来への期待感でレアルを買う動きも限られよう。国内要因ではレアルの方向感が出づらいつながりが続くだろう。一方、国外のイベントとしては26日にイエレンFRB議長のジャクソンホールでの公演がある。各国中銀総裁が集まって金融政策の将来を語る重要イベントであり、市場関係者の一部はイエレンFRB議長が利上げ時期の手がかりとなるような発言をする可能性があるかと期待している。しかし、7月のFOMC議事録で利上げの報告性を示さなかった議長が来週突然利上げ時期を示唆するようなことは考えづらいだろう。イベント自体は大きなサプライズなく終わると予想する。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IGP-M Inflation 2nd Preview	0.08%	0.09%	0.32%
ブラジル	税込	106850m	107416m	98129m

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	8/22	貿易収支(週次)	Aug 21	--	\$1685m
ブラジル	8/22	登録雇用創出合計	Jul	-86500	-91032
ブラジル	8/23	FGV CPI IPC-S	Aug 22	--	0.48%
ブラジル	8/23	経常収支	Jul	-\$3600m	-\$2479m
ブラジル	8/23	海外直接投資	Jul	-\$500m	\$3917m
米	8/23	新築住宅販売件数	Jul	580k	592k
ブラジル	8/24	FGV消費者信頼感	Aug	--	76.7
ブラジル	8/24	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Aug	0.45%	0.54%
ブラジル	8/25	融資残高	Jul	--	3130b
独	8/25	IFO企業景況感指数	Aug	108.5	108.3
米	8/25	耐久財受注(前月比/速報)	Jul	3.5%	-3.9%
ブラジル	8/26	FIPE CPI-週次	Aug 23	--	0.05%
ブラジル	8/26	FGV建設コスト(前月比)	Aug	--	1.09%
ブラジル	8/26	中央政府財政収支	Jul	--	-8.8b
米	8/26	GDP(年率/前期比/改定値)	2Q	1.1%	1.2%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。